



Essay from Dentist

DHに届け！ 私の想い⑦ あなたらしさを 発揮できる仕事

坂井清隆（歯科医師）

ドラえもん

皆さんは最近見かけるようになってきた人間型ロボットをどう思いますか？ 私は小さいころ見ていた「ドラえもん」の世界が、もうそこまでやってきていると感じます

昨今、あらゆる分野で人工知能をもったロボットが活躍しはじめています。そして10～20年後には、人の仕事はロボットに奪われ、現在存在する仕事の約半分がなくなるといわれています。この先10年で仕事の仕方や、仕事に対する考え方が大きく変化すると思われまます。技術は人間からロボットへ。その代わりに、“心”“気づき”“感性”などの「人間性」がより重要視されることでしょう。こういった時代



集合写真

背景により、歯科衛生士の仕事の重要性は、歯科以外の業界からも注目されています。今回は、歯科衛生士という仕事は一生あなたを輝かせ、活躍できるというお話をしたいと思います。

当院の変革

これからは人口減少、待機児童や要介護者の増加といった問題により、確実に時間の制約のある働き手が増えていきます。まだまだ長時間労働が根強い日本社会のなかで、労働時間の短縮が叫ばれていますが、歯科業界も女性が働きつづけやすい環境になるよう変革を進めなければならないと思います。

当院がある宮城県石巻市は、2011年3月11日、東日本大震災で津波にのめられました。当院も1階がすべて水没し、水が引くまでの4日間、スタッフや患者さんとともに孤立状態で過ごしました。人口16万人の石巻市は年々過疎化が進み、若い働き手の減少が悩みでした。そこへ震災が拍車をかけ、現在ますます人材不足が深刻化しています。若い人の多くは仕事を求め都会へ。そして石巻市にいる働き手は、そのほとんどが家族をもち、共働きをしています。

そこで当院ではミーティングを行い、今後の仕事や家庭での夢や希望、医院への要望について話し合いました。するとスタッフから、「仕事と家庭を両立させるため、いまよりすこし早めに帰宅できるとありがたい」という意見が出ました。非常に悩みましたが、昨年6月より診療時間を1時間短縮し、5時までとする時短に踏み切りました。

もちろん、来院患者数が減少するのではないかと、収入が落ちるのではないかなど、いろいろと不安はありました。しかし、チーフを中心にスタッフ一丸となって力を尽くしたことで、診療時間をうまく移行することができました。毎日の仕事が終わって、笑顔で帰っていくスタッフ

を見ると、“やってよかった”と感じています。

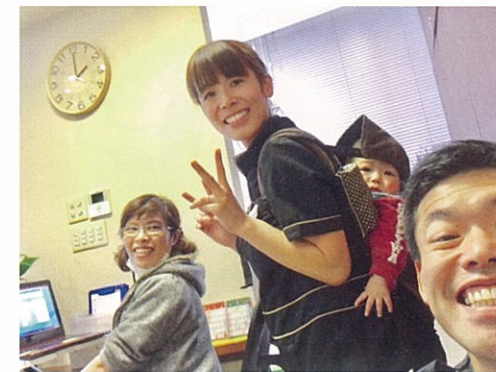
キーワードは「承認」！

歯科衛生士の仕事は、年を重ねるほどおもしろくなると思っています。患者さんの人生に長く寄り添う仕事ですので、患者さんの生活背景の変化にも心を傾けながらサポートしていく必要があります。患者さんと向き合うときには、自身の結婚、育児、介護などさまざまな経験がとて役に立ちます。

「承認」という言葉があります。患者さんやスタッフ、家族など、人と人とのコミュニケーションは、自分と異なる相手をまずそのまま認めることが大切で、これを承認といいます。承認する力は仕事だけでなく、人生のさまざまな経験とおしてすこしずつ身につくのだと思います。ですから、ブランクがあり歯科医療に復帰することに躊躇している方には、臆することなく戻ってきてほしいと思います。患者さんはいろいろな経験をした歯科衛生士のあなたを待っています。皆さんの人生のどのステージにおいても、ぜひ歯科衛生士として活躍してほしいと心より応援します。同時に、私たち開業医は、スタッフが育児や介護をしながらでも働きつづけやすい職場環境を整えられるように、これからも努力していく必要があると思います。

大人が変われば……

そしてもう1つ、子育てをしながら働いている方にはお伝えしたいことがあります。日々、仕事と家事を両立することは非常に大変でしょう。最近では家事をする男性も増えてきましたが、女性は自分の職場以外に家庭でも多くの仕事をしています。そんな毎日頑張っている母親の姿を子どもはしっかり見えています。正直、ヘトヘトだと思います。でもそこに笑顔があれば、子どもの目にはどんなに輝いて映ることで



院内のミーティングに参加した育休中の歯科衛生士と

しょう。

当院の考えに「大人から変わろう！」というものがあります。現在、私も歯科医師として働く妻といっしょに、3人の子どもを育てています。母親や父親が「今日も仕事は楽しかった」と笑顔で帰宅したら、それを毎日見ている子どもはきっと自分も両親のように働きたいと思うでしょう。いきいきと働く親の姿は、子どもに夢と希望を与え、成長を促すと信じています。

私たちの日々の仕事にはそんな素敵な一面もあるのです。子どもにとって一番身近な大人である親が笑顔で働く姿を見せること、それは非常に大切な大人の役割だと思います。

フレイルの予防の必要性が叫ばれるいま、口腔の健康維持の大切さが再認識されています。歯科衛生士とは、ロボットには代われない自分自身の人生経験が反映される仕事です。そして、患者さんに喜んでいただけるだけでなく、家族の笑顔もつくりだすことができる、そんな素晴らしいものです。ぜひ長く続けてください。ともに喜びを分かち合いましょう。



坂井清隆 / さかいきよたか
2002年 岩手医科大学歯学部卒業
2002～2007年
医療法人安田歯科医院・池田インプラントセンター勤務
2010年 医療法人T&K
坂井おとな子ども歯科開院
医療法人T&K坂井おとな子ども歯科
〒986-0815
石巻市中里3丁目1-11